

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	基礎演習Ⅱ	山口 憲二	1 年次	秋

授業のキーワード	労働経済学、キャリア、経営、仕事、情報化、国際化
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	2 年生の卒業研究に向けて、労働経済学とキャリアデザインに関連した分野のテキストをじっくり読み、レポートを作成し、発表するという基本スキルのトレーニングを行う。
履修のアドバイス・ 前提科目等	毎回予習と復習および全員が発言することを求める。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	オリエンテーション	ゼミの進め方、自己紹介、役割分担、メーリングリスト作成	第 9 講	第 2 章 若者の働き方の経済学 (OUTPUT2)	全員が前回の範囲からレポートを提出し、口頭発表し、教員がコメントを行う。
第 2 講	第 1 章 ワーク・ライフ・バランスの経済学 (INPUT1)	当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。	第 10 講	第 3 章 女性の仕事の経済学 (INPUT1)	予習を前提として、当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。
第 3 講	第 1 章 ワーク・ライフ・バランスの経済学 (INPUT2)	当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。	第 11 講	第 3 章 女性の仕事の経済学 (INPUT2)	予習を前提として、当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。
第 4 講	第 1 章 ワーク・ライフ・バランスの経済学 (OUTPUT1)	全員が前回の範囲からレポートを提出し、口頭発表し、教員がコメントを行う。	第 12 講	第 3 章 女性の仕事の経済学 (OUTPUT1)	全員が前回の範囲からレポートを提出し、口頭発表し、教員がコメントを行う。
第 5 講	第 1 章 ワーク・ライフ・バランスの経済学 (OUTPUT2)	全員が前回の範囲からレポートを提出し、口頭発表し、教員がコメントを行う。	第 13 講	第 3 章 女性の仕事の経済学 (OUTPUT2)	全員が前回の範囲からレポートを提出し、口頭発表し、教員がコメントを行う。
第 6 講	第 2 章 若者の働き方の経済学 (INPUT1)	予習を前提として、当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。	第 14 講	ディスカッション	これまでの範囲の中でより深く学びたい項目、新たに生じた問題意識などについて話し合う。
第 7 講	第 2 章 若者の働き方の経済学 (INPUT2)	予習を前提として、当該内容について、テキストの記述を 100%理解するため、質疑応答を行い、教員が補足説明とコメントを行う。	第 15 講	まとめ	春学期の整理を行い、2年次の卒業研究に向けての準備を行う。
第 8 講	第 2 章 若者の働き方の経済学 (OUTPUT1)	全員が前回の範囲からレポートを提出し、口頭発表し、教員がコメントを行う。	評 価 方 法		毎時間の発言、レポート、ゼミへの貢献により総合的に評価する。
備 考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
脇坂 明『労働経済学入門－新しい働き方の実現を目指して』日本評論社 脇坂 明『労働経済学入門－新しい働き方の実現を目指して』日本評論社					